

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 (四日市工業高等学校 全日制)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		校訓「技術と精神（こころ）」をすべての教育活動の基本に据え、生徒たちが将来のスペシャリストとして夢をもって、社会に貢献するグローバルな人材を育成するとともに人権を尊重し、スポーツ・文化活動等を通じて個性の伸長と生きる力を育成するため透明性のある学校運営による教育を目指します。
(2)	育みたい 児童生徒像	1 工業高校生としての専門性を高め、調和のとれた職業人 2 生徒会活動や部活動など自主的な活動を一層充実させることで、個性を伸長し、心豊かな人間性を備える生徒
	ありたい 教職員像	1 目指す学校像実現に向け、保護者・企業・地域等からの要望を受け止め、互いに情報共有を図り、すべての教職員が一体となった教育活動を進めるとともに、意欲を持って教育活動のできる教職員集団 2 仕事にやりがいを感じ、自らも成長しようとする教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒>資格取得、部活動等における飛躍、充実した学校生活、進路希望実現を期待している。</p> <p><保護者>充実した高校生活、子どもの進路希望実現と人間的成長を求めている。</p> <p><企業等>元気で明るくコミュニケーションが図れ、社会に貢献できる生徒の育成が期待されている。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p><家庭・保護者> 情報共有、進路実現への取組</p> <p><卒業生・同窓会> 学校の活性化と改善活動</p> <p><企業・地域等> 心身ともに健康な人材の育成</p>		<p><家庭・保護者> 本校教育方針への理解と協力 役割と責任の自覚及び相互の連携・協力</p> <p><卒業生・同窓会> 連携と協力、支援</p> <p><企業等> 連携と協力、支援</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>1 3年間を見通して取り組めるキャリア教育体制が確立している。</p> <p>2 ものづくり等教科活動において大きな成果があった。</p> <p>3 学校と地域とのつながりが徐々に深まりつつあり、地域行事への参加や奉仕活動など、四日市工業高校生に益々期待したい。</p> <p>4 地元小学校ものづくり体験は、工業教育の魅力を発信する絶好の機会として意義深い。</p> <p>5 防災面で災害時を想定した地域との調整が必要である。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	生徒たちは専門教科等の学習に努力し、将来のスペシャリストとして夢をもちながら、楽しく安心して学びたいという思いを持っている。また、部活動等では毎年優秀な成績を収めている。自己実現に向かって努力する生徒を育成していくことが求められ、そのためには、教職員自らが「学びの精神」を忘れず、クラスづくり・仲間づくり・生徒との関係づくり・授業づくり・授業の工夫と改善等に努力することが必要である。	
	学校運営等	<p>1 分掌、工業各科、学年間の連携がスムーズになり、教職員間で情報が共有されているため、組織としての意識が強まり、学校全体での取組が円滑にできるようになりつつある。</p> <p>2 進路指導が充実し、卒業生全員の就職が内定するとともに進学が決定した。</p> <p>3 資格取得、ものづくり活動、部活動等において大きな成果を収めている。担当者の放課後や休日を含めた熱意ある指導が実を結んでいる。</p> <p>4 7科 24 学級の大規模校であり、学校の取組みや指導が生徒や家庭に伝わりにくい。</p> <p>5 情報共有のため会議が多くなり、教職員の放課後の時間確保が少なくなっている。</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が卒業後に会うであろう様々な社会環境の中で生きていくために必要な力(生きる力)とは何かを明らかにし、その力を身に付けさせるための活動を継続的・体系的に実践する。工業高校の専門性を生かし、優れた技術の練磨により、志高い調和のとれた職業人の育成を目指すため、資格取得やインターンシップの一層の充実を図るとともに「生き方・あり方」について考える教育に取り組む。 2 生徒や教職員がそれぞれ一人ひとりを大切にし、皆が常に思いやりの心を持って、互いに尊重し合い、信頼し合う人間関係をつくることにより、より良い人格の形成を目指す。 3 生徒や保護者が四日市工業高校に「入学して良かった」と感じ、地域の人々が「地域にとって必要で愛着が持てる」と感じることでできる学校づくり及び教育活動を実践する。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1 変化する社会の状況の中で生徒の進路実現を図るために、全教職員が連携した指導体制及び支援体制を継続的に強化する。 2 生徒会活動や部活動など自主的な活動をさらに一層充実させ、心豊かな人間性と個性の伸長を図る。また、人権教育基本方針をもとに、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則に、人権感覚あふれる学校づくりを推進する。 3 社会から信頼される学校づくりを目指すため、保護者や地域等からの要望を受け止め、学校・保護者・地域が一体となって透明性のある学校運営を行う。そのために、教職員間の共通理解と協同性を大切にし、学校教育目標の達成に向けて相互に協同し、切磋琢磨する関係性(同僚性)を保ちつつ、常に前向きにチャレンジし続けることができ、勤務時間の適正化も含め心身にわたる健康の維持・増進やワーク・ライフ・マネジメントの推進を図りながら意欲を持って教育活動に従事できる「働きやすい職場づくり」を目指す。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を大切にするとともに、将来の進路を具体的に考えさせて、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 2 専門分野に関する知識・技術の充実及び学習意欲を喚起し、各種の資格・検定取得を奨励するとともに、ものづくり活動等に積極的に取り組む。 3 生徒と積極的にコミュニケーションを図り、図書館の利用促進に努めるとともに、読書の手助けをする。 	(年度末および適宜記載)	※ ◎

<p>進路指導</p>	<p>1 職業観・勤労観の醸成を図るため、キャリア教育を進める。</p> <p>(1)進路講話(保護者全体説明会含む)・進路ガイダンス・卒業生との懇談会等を実施する。</p> <p>(2)面接指導等に取り組む。</p> <p>(3)基礎学力向上を目指し、進路指導模擬試験の充実を図る。</p> <p>(4)ミスマッチをなくすため、3年生に対して応募前企業見学を実施する。</p> <p>(5)1, 2年生に対して、早い段階から進路の意識付けのガイダンスを実施する。</p> <p>(6)インターンシップなどを通じて、職業観と勤労観を培うと共に、自己と職業の理解を促す。</p> <p>2 進路決定と将来の生活への適応を目指す。</p> <p>(1)企業訪問の強化を図る。(企業訪問100社以上)</p> <p>(2)生徒個々の適正に応じた企業選択をするため、情報提供を推進する。</p> <p>(3)ミスマッチをなくすため、応募前企業見学を実施する。</p> <p>3 学年・進路指導部・学科等の連携・支援により、生徒の進路保障に努める。</p> <p>(1)就職希望者の内定率100%を目指す。</p> <p>(2)進学希望者の志望校合格率100%を目指す。</p>	<p>※</p> <p>◎</p>
<p>生徒指導</p>	<p>1 基本的な生活習慣の確立について取り組む。</p> <p>(1)あいさつ運動を実施する。</p> <p>(2)頭髪服装検査を各学期の初めに実施する。</p> <p>(3)遅刻指導を実施する。</p> <p>2 交通事故防止の指導に取り組む。</p> <p>(1)登校指導を実施し、交通マナーの順守を徹底する。</p> <p>(2)自転車通学の安全とマナー向上を図るため、講話・指導を行うとともに、自転車点検を4月と3月に実施する。</p> <p>3 環境美化活動に取り組む。</p> <p>(1)各学期に大掃除を行い、年度末には教室及び各科棟の整美を行う。長期休業中も学校の美化に努める。</p> <p>4 人権感覚あふれる学校づくりを目指して人権教育に取り組む。</p> <p>(1)人権LHRを1学期と2学期に全学年で取り組む。</p> <p>(2)いじめアンケートを年3回行い、いじめの把握に努める。</p> <p>5 教育相談を実施し、必要に応じてカウンセラーにつなげる。また、保健室と関係教員が一致して生徒に対応する。</p>	<p>※</p> <p>◎</p> <p>※</p>
<p>保健指導</p>	<p>1 生徒のプライバシー保護に留意しながら、健康に関する情報の把握と共有に努め、健康相談を随時行う。</p> <p>2 薬物乱用防止講話、性に関する講話を実施する。</p>	
<p>改善課題</p>		
<p>(年度末に記載)</p>		

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	1 教職員の健康管理及び過重労働削減に努め、一人ひとりが意欲的に教育活動に従事できる「働きやすい職場づくり」を目指す。 2 生徒に「力」をつける環境づくりのため、授業変更や特別時間割の作成により、自習課題時間を減らし授業時間の確保に努める。 3 各種委員会等を定期的に開催し、情報共有を図るとともに、円滑な学校運営を推進する。 4 生徒の進路保障に向けて、企業訪問の強化を図る。 5 平成30年度に設立が決定している専攻科について、組織的に準備を推進する。		※ ※
情報提供	1 デスクネットやイントラネットを活用して、職員間の情報伝達を円滑化する。 2 教務処理を現行の業務に照らし合わせ、効率的で円滑な運用を目指し、校務処理の最適化に努める。また、特A情報の管理の徹底を促す。 3 三重県統一校務支援システムに係るパイロット校として、取り組みを進める。		※
研修	1 人権教育、特別支援教育、コンプライアンス等、各種研修を実施し、教職員の資質向上を図る。		
保護者・地域等との連携	1 保護者及び地域との連携を推進し、学校・保護者・地域が一体となった学校運営に努める。 (1) 保護者会を実施するとともに、PTA活動を活性化する。 (2) 地域の要望を把握し、地域の行事等に参画する。 2 地元小学校と「ものづくり指導」を通して連携する。		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)